



農業者の皆様へ

肥料のプラスチック殻が河川等へ流出しないようご協力ください

被覆肥料は、肥料成分の溶出量を調節することができるよう、表面を**プラスチック**等で被覆した肥料です。

施肥作業の省力化や施肥量の低減につながることから、本県でも広く使用されています。

一方、水稻栽培においては、肥料成分が溶出した後のプラスチック殻が、**特に代かき時に水面へ浮遊しやすく、ほ場から河川等へ流出する**可能性があるため、**ほ場から流出させない取組**が必要です。

流出防止のポイントは裏面へ ➡

肥料のプラスチック殻が河川等に流出した事例



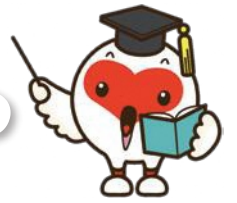
ほ場から
河川等へ



肥料のプラスチック殻を含め、海洋に流出したプラスチックごみが**生態系を含めた海洋環境の悪化等**を引き起こすと懸念されています。



流出防止のポイント



環境と調和した持続可能な県農業に向け
みんなで取り組みましょう

1 畦畔管理

- 丁寧な畦塗りで漏水を防ぎましょう。
- 止水板は畦の高さ以上とし水尻からの流出を防ぎましょう。



2 代かき・田植え時の水管理

- 入水までに田面を均平にしましょう。
- 代かきは浅水状態で行いましょう。
- 田植え前は強制落水せず自然落水で水位調整しましょう。



3 浮遊したプラスチック殻の除去

- ほ場内で浮遊したプラスチック殻を見つけた場合はすくい取りましょう。

問い合わせ先